様式第10号（第４条の２関係）

武豊町長

パートナーシップ・ファミリーシップ継続届

私たちは、武豊町パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度実施要綱に基づき、転出元の連携自治体でパートナーシップ・ファミリーシップの宣誓に係る受領証等を交付されていたこと、及び引き続き互いが人生のパートナー、ファミリーとして相互に協力し合うことを約束した関係であることを届け出ます。

届出日　　　　　　年　　　　　月　　　　　日

届出者

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  |  |
| 氏名又は  通称名 |  |  |
| 生年月日 | 年　　　　月　　　　日 | 年　　　　月　　　　日 |
| 住所 | 〒 | 〒 |
| 電話番号 |  |  |

　子を始めとした近親者等（受理証明書等に記載を希望する場合のみ、御記載ください。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 生年  月日 | 年　　　月　　　日 | 続柄 |
| 近親者等の  氏名 |  |  |
| ふりがな |  | 生年  月日 | 年　　　月　　　日 | 続柄 |
| 近親者等の  氏名 |  |  |
| ふりがな |  | 生年  月日 | 年　　　月　　　日 | 続柄 |
| 近親者等の  氏名 |  |  |
| ふりがな |  | 生年  月日 | 年　　　月　　　日 | 続柄 |
| 近親者等の  氏名 |  |  |

※　届出者の欄は自署してください。やむを得ない場合は代書が可能ですが、裏面に代書者の氏名等を御記入ください。

※　この届出は、婚姻及び養子縁組とは異なり、法的な権利の発生や義務の付与を伴うものではありません

（裏面）

１　代書者（表面で、代書をする場合のみ記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  |  |
| 氏名 |  |  |
| 住　所 |  |  |
| 代書理由 |  |  |

２　表面に、通称名を使用している場合、以下に戸籍上の氏名（外国人の場合は、これに準じるもの）を記載

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ふりがな |  |  |
| 戸籍上の氏名 |  |  |
| 通称名 |  |  |

３ 確認事項

　私たちは、武豊町パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度実施要綱に定める届出を行うに当たり、下記の記載の内容が事実と相違ないこと及び同要綱の規定を順守することを確認します。

※該当する項目の確認欄に（✔）を入れて下さい。（全ての項目にチェックが必要です）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 確認欄 | 項　　　目 | 要　綱 |
| □ | 互いを人生のパートナーとし、親密な関係に基づき永続性をもった生活共同体を構築している又は構築することを約した関係及び、その関係のある者の一方又は双方の子を始めとした近親者その他町長が適当と認める者を含め、家族であると約した関係にあること。 | 第２条第１項 |
| □ | 双方が成年に達していること | 第３条第１号 |
| □ | 双方の住所について、次のいずれかに該当すること。  （１）双方又はいずれか一方が町内に住所を有すること。  （２）双方又はいずれか一方が町内への転入を予定していること。  　転入予定者：  転入予定日： 　　年　　 月 　日 | 第３条第２号 |
| □ | 双方に配偶者（婚姻をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者も含む）がいないこと。ただし、宣誓者同士が事実上婚姻関係と同様の事情にある場合を除く。 | 第３条第３号 |
| □ | 双方が他の者とパートナーシップ又はそれに類する関係にないこと。 | 第３条第４号 |
| □ | 双方が民法第734 条及び第735 条に規定する婚姻をすることができないとされている者同士の関係にないこと（ただし、共に宣誓をしようとする者同士がパートナーシップに基づき養子縁組をしている場合は除く）。 | 第３条第５号 |
| □ | 本届出書に基づき、転出元の連携自治体へこの届出の内容を通知すること及び本届出書の写し、受領証等の原本を送付することに同意します。また町が転出元の連携自治体から宣誓時等の関係書類の写しの提供を受けることに同意します。 | 第４条の２  第11条の２ |
| □ | 要綱第９条及び第11 条に定める事項について、変更届又は返還届（受理証  明書等を添付）を提出しなければならないこと。 | 第９条  第11条 |